

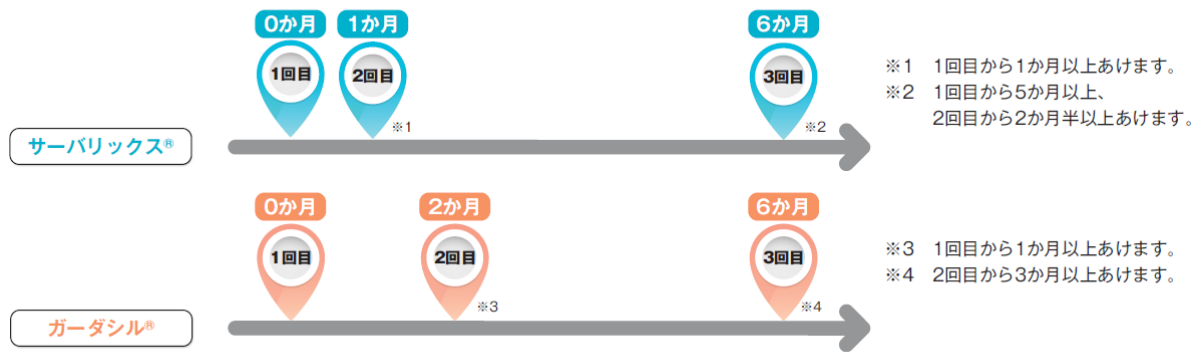
子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）について

1 接種期間 小学校6年生～高校1年生まで

2 ワクチン種類と間隔

接種対象者	小学校6年生～高校1年生（女子） 標準的な接種期間：中学1年生	
回数	3回（通常、3回の接種完了まで6か月を要します。接種スケジュールについては医師にご相談ください。）	
種類	サーバリックス（2価）	ガーダシル（4価）
概要	HPV16型、18型に対するワクチン（子宮頸がんの主要な原因）	HPV16型、18型（子宮頸がんの主要な原因） HPV6型、11型（尖圭コンジローマの主要な原因）に対するワクチン

<一般的な接種スケジュール>



ともに、1年以内に接種を終えることが望ましい。

副反応

多くの方に、接種部位の痛みや晴れ、赤みなどが起こることがあります。まれですが、重い症状（重いアレルギー症状、神経系の症状）が起こることがあります。

発生頻度	サーバリックス	ガーダシル
50%以上	疼痛・発赤・腫脹、疲労感	疼痛
10～50%未満	掻痒（かゆみ）、腹痛、筋痛・関節痛、頭痛など	腫脹、紅斑
1～10%未満	じんましん、めまい、発熱など	掻痒・出血・不快感、頭痛、発熱
1%未満	注射部位の知覚異常、感覚鈍麻、全身の脱力	硬結、四肢痛、筋骨格硬直、腹痛・下痢
頻度不明	四肢痛、失神、リンパ節症など	疲労・倦怠感、失神、筋痛・関節痛、嘔吐など

（厚生労働省作成：リーフレット（詳細版）より）